

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャレンジ・キッズ宝塚			
○保護者評価実施期間	2025年10月30日 ～ 2025年12月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年10月30日 ～ 2025年11月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された個別支援計画の作成と具体的な支援内容の設定	多角的な視点から子どもと特性や課題を理解して、子どもが持っている力を活かしながら楽しく学んでいけるような支援計画の作成を行っている。 支援内容を細分化しステップを踏んで支援している。 失敗しても取り組みの過程を評価して、子どもの意欲の維持・向上に務めている。	本人や保護者の意見や要望を聞きながら、得意なことはもちろん、苦手なことにもチャレンジできるよう継続して工夫していく。また支援内容が固定化しないよう柔軟に対応していく。
2	事業所を利用する際の、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について、また「放課後等デイサービス計画」を示しながらの支援内容を丁寧に説明した。	保護者に伝わりやすい言葉がなにかを考えたり、説明の仕方についても職員間で話し合ったりした。	重要事項や契約内容等の変更や支援計画の更新が行われるときの連絡を迅速に対応していく。
3	事業所内の環境や体制整備について	限られたスペースを上手く活用し、用途に応じて使い分けしている。また意図的に狭い空間も作っていくことで、周囲に気を遣う体の使い方を支援している。 事業所を使用する全ての人が清潔を保つことを覚えられるよう、自身が使用したものを消毒するなどの衛生管理を行っている。	プログラム内容と同様に、座席の位置や物品の場所が固定化しないよう、柔軟に対応していく。変化に対しての子どもの反応を記録して、変化に柔軟な考え方が身につくよう体制整備に努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流	交流のきっかけになる行事等が少ないこと 保護者によって就労等で参加しやすい日程が異なっていること 開催するために十分な職員体制が整備できないこと	開催するために十分な職員体制を整備する
2	父母の会、保護者会の開催		
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会		